

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年 6月11日(水) 14:30~16:30
- 3 開催場所 中津高等学校大会議室
- 4 参加者

会 長	田島 雅子	中津川市教育委員
副会長	糸魚川 謙一	元全日制PTA会長
委 員	田口 宏二	中津川市立第二中学校校長
	下條 啓二郎	定時制同窓会長
	鎌田 貴久	中津川市役所 定住推進部市民協働課長
	安保 節子	全日制PTA副会長
	松下 嘉広	一般財団法人ヒガシミノ団地代表理事
	間 龍一郎	同窓会長 (欠席)
	宮良 淳子	中京学院大学教授
	吉村 あづさ	図書館ボランティア養成コーディネーター
学 校 側	田並 千穂	校長
	工藤 正紀	副校長
	鈴木 良和	事務部長
	高橋 清仁	教頭

5 会議の概要(協議事項)

○学校運営協議会の設置運営、設置等に関する規則について説明後、会長・副会長を選出

○令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画についての説明

(1) 令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画(全日制)について

意見1: 字が薄い部分があるが意図はあるか。

⇒ 昨年度と変更した部分である。

意見2: 中学生も様々な力が付いていない。地域連携を含めた様々な活動を通して主体性や協働性を育ませる学校経営計画でよい。

意見3: 昨年度入学生の大幅な減少に対し、体験入学や中学校への広報訪問などを生徒が主体的に取り組んだことは素晴らしい。

意見4: 中津川市役所も地元定着をキーワードとして取り組んでいる。域学連携などを通して様々な体験をしてもらい、参加した生徒の生の意見を通して今後の活動に生かしていきたいと考えている。

意見5: ボランティア活動は活発に行ってほしい。

意見6: 中学校の教員が点数で選ぶのではなく、生徒の特性を見極めてこの生徒は中津高校

の方がいいな、〇〇高校の方がいいなと判断してもらえるとよい。中学3年生や中学校の教員へのアピールはどのように行っているか。

⇒ 学校長が中学校へ訪問して本校の特徴をまず知ってもらう。その後、高校説明会で本校職員が生徒や保護者、教員に対して本校の特徴を説明、理解してもらう場を設けている。

意見7：教職員の勤務環境の改革に関する取り組みやハラスメント等の解決に向けた組織・体制づくりについて説明してほしい。

⇒ 時間外在校時間が80時間を超えた職員は学校長が面談し、業務の内容や体調についての聞き取りを行っている。業務負担が一人に偏っている場合は業務の割振りを行ったり、体調が優れない職員は産業医との面談を実施している。ハラスメントに関しては、年2回研修を行っている。少人数の意見交流も行うことで相談しやすい風通しのよい職場環境になるよう心掛けている。

(2) 令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画（定時制）について

意見1：定時制では同窓会も協力しながら様々な体験活動を行っている。小学校から学校に通えない児童生徒が増えているが、そのような生徒が学校で様々な体験ができる定時制は是非残してほしい。また同窓会一同、生徒のために今後も協力していきたい。

意見2：本校には定時制は以前からあったが、この委員会に出席して今の定時制の状況を知ることができた。

意見3：定時制の卒業後の進路はどのような状況か。

⇒ この春の卒業生は4名であった。名古屋の大学に1名、自動車整備の専門学校に1名、動物関係の専門学校に1名進学し、1名が自衛隊に就職した。過去5年間でフリーターは3名だけで、進学や就職をしている。

意見4：以前学校を訪れた際、定時制の生徒をヘッドハンティングした。今後もしてほしい、他の企業もしてほしい。

意見5：国民保険について知らないという人がいたが、そのような知識はどのような場面で育んでいるか。

⇒ 家庭科や公民の授業、外部講師などの進路指導行事で行っている。

(3) 学校への要望・意見等について

意見1：フリースクール出身者で就職の際に選択の幅が狭く困るという話を聞くので、様々な経験ができることを含め、定時制を存続させてほしい。

意見2：10年ぶりに中学校に勤務となった。以前より通信制への進学者が増えているが、費用面で定時制の存在はありがたい。

意見3：専門ではない教員が指導する部活動には外部コーチはありがたい。ただ、生徒との関わり方は教員とは違うので心配な面もある。

意見4：大学卒業後に地元に戻ってくる生徒が特に女子に少ない。地元が好きな学生は統計上多いので、域学連携を通して将来地元に戻ってくれるよう市役所で取り組んでいる。高校にも協力をお願いしたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、学校運営協議会の説明と教育指導の重点及び学校経営計画について理解していただき、全委員より本校の学校経営計画について承認が得られた。
- ・今年度研修探究部を立ち上げ、域学連携や高大連携、ボランティア活動の充実を図り、今年のキャッチフレーズである「自走できる生徒」の育成を育んできたい。